****

**2021　読み研　春の学習会　in　京都 のお知らせ**

「言葉による見方・考え方」を鍛える国語の授業づくり

「主体的・対話的で深い学び」をどう実現するか
　　─新学期からの楽しく力のつく国語の授業―

コロナ禍で先の見通しのつかない情勢のなか、いつも

とは違う仕事にストレスを感じる毎日です。子どもたち

も、新しい学習スタイルに慣れない中で学習に頑張って

います。そんな情勢ですが、大きめの部屋の確保、部屋

の換気、手指の消毒等感染対策をしっかりとりながら、

対面での学習会を実施することにしました。

国語の授業では、何を教えるのでしょうか？ どのよう

な力を子どもたちにつけていけばよいのでしょうか？ ど

うすれば子どもたちに国語の力はつくのでしょうか？ 学

習指導要領では「深い学び」を実現するために、「言葉による見方・考え方」を働かせることが大切であると謳われています。「言葉による見方・考え方」を働かせることとは、どういうことなのでしょうか。

小学校は2020年度から教科書が新しくなりました。中学校は2021年度から教科書が新しくなります。新学期を前に、国語の授業づくりの課題にこたえる学習会です。みなさんのご参加をお待ちしています。

＊当日は昼食を済ませてご参加ください。学習会場での食事はできません。また、マスクの着用もお願いします。当日37℃以上ある方は、参加を見合わせてください。

◆　日時：　　２０２１年 ３月 ２８日（日）　　12:20 ～ 17:00
◆　会場：　　京都市　　立命館大学朱雀キャンパス　多目的室（１F）

JR山陰線または京都市営地下鉄（東西線）　二条駅下車３分
◆　参加費：　５００円
◆　内容：

　・開会あいさつ　（12:20～12:30）

・講座Ⅰ　 　　 （12:30～13:50　 80分）

「言葉による見方・考え方」を鍛える国語の授業づくり（物語・小説）

「帰り道（小6）」と「握手（中３」を使って

　 　　　　　　　 　　　　　　　 （加藤郁夫　大和大学）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　⤵

・講座Ⅱ　 （14:00～15:20　 80分）

「言葉による見方・考え方」を鍛える国語の授業づくり（説明文）

「たんぽぽの ちえ（小２」と「自然のかくし絵（小３）」を使って

（永橋和行　立命館小学校　大阪大学非常勤）

・講座Ⅲ　 （15:30～16:50　 80分）

「言葉による見方・考え方」を鍛える国語の授業づくり（論説文）

「言葉の意味が分かること（小５）」と「玄関扉（中１）」を使って

（竹田博雄　高槻中学高等学校）

　・閉会あいさつ　（16:50～17:00）

〈参加申し込み〉

（１）読み研ＨＰ（アドレス　http://www.yomiken.jp）にある「問い合わせ」メールにて、

「京都の春の学習会参加希望」とご連絡ください。
（２）その際、郵便番号・住所・氏名・学校名を必ずお知らせください。
（３）折り返し、受付完了のメールを差し上げます。（４）参加費500円は、当日会場にてお払いください。

＊お釣りのないようにお願いします。
（５）会場の都合で、事前の申し込みがないとお断りする場合があります。あらかじめご承知お

きください。

（６）新型コロナウイルス感染防止対策のため、以下のご協力をお願いします。

・マスクの着用をお願いします。

・消毒用アルコールを準備しますので、手指消毒をお願いします。

・３密を避けるため、座席等を指定する場合があります。

・その他、必要に応じてお願いすることがあるかもしれません。ご協力をお願いします。

〈問い合わせ〉
　読み研ＨＰ（アドレス　http://www.yomiken.jp）の「問い合わせ」メールをご利用ください。